

2022年度 標準化委員会 公開講座

「SDGs とユニバーサルデザインの共通点って何？」実施報告

(公社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
標準化委員会

2023年1月21日(土)、オンライン形式で(公財) 共用品推進機構 専務理事・事務局長の星川安之氏を講師にお迎えした公開講座には、NACS 会員・非会員合わせて59名にご参加いただきました。



星川氏が障害の有無、身体特性にかかわらず、誰もが使いやすい商品・サービスの開発・普及に関わったきっかけは、41年前に障害のある子供たちが遊べる市販の玩具が少ないと気付いた事だったそうです。星川氏が目指しておられる「共生社会」とは、これまでは必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった人たちが積極的に参加・貢献

していくことができる社会です。それを阻んでいる「社会の壁」を高さ30~60センチの土俵に例えて、その壁を取り払うためのハード面、ソフト面、そして法律について具体策を交えながらお話しいただきました。

例えば、ハード面の一例として紹介された自動販売機は車椅子でも利用しやすいようにお金の投入口や最上段の商品に対応するボタンが手の届く位置に配置されています。ソフト面では「意思の伝達を阻む壁」として「思い込み」「上下関係」「無関心」があり、それを「日々初日」「水平関係」「関心」に変えることで、壁をなくすことができるとのこと。消費者問題に関わる機会が多い NACS 会員には対象者の特性に応じた対応、伝え方など参考になったのではないのでしょうか。

SDGs とUD (ユニバーサルデザイン) の共通点って何？
良かったこと探して、
誰一人取り残さない社会の実現を



2023年1月21日
共用品推進機構
星川安之

「不便さ調査」をより発展させた「良かったこと調査」の事例に心がほっこり温まり、そして高さ0(ゼロ)センチの土俵の実現に向けて沢山の気づきをいただいた講座でした。